

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービスふうせん				公表日	R7年 3月11日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		人数が多い日はグループごとに部屋を分けたり、屋外での活動を取り入れられています。	利用人数や療育内容に合わせて、部屋の使い分けを工夫しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		保育士・理学療法士等有資格者を配置しております。	職員配置基準に則り、配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		玄関・階段には手すりが設置されています。室内に大きな段差はありません。	必要に応じてバリアフリー等に関しては設置の検討をしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日点検を行い、子どもたちが安全に過ごせるよう工夫しています。また、活動に合わせて空間を区切ったり部屋を変えたりしながら活動等を行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		本人の様子や状況に応じて、個別に対応したり部屋を移動したりしながら行っている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		朝礼・管理者会議等を定期的に行い、業務についても情報共有・改善につとめています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に1回保護者に事業所についてのアンケートをお願いしています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		朝礼や作成会議を行う中で、職員の子どもへの関り方や関係機関とのやり取り等を報告し合い、子どもにとっての最善の利益を考えながら職員間で意見交換をする機会を設けている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在第三者による外部評価は行っていませんが、今後必要に応じて実施を検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定例委員会の実施後に研修内容を報告したり、外部の研修にも積極的に参加しています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		初回以降は、概ね半年以内にモニタリングを行い、保護者の意向を踏まえた放課後等デイサービス計画書を作成しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		概ね半年ごとのモニタリングの度にアセスメントを行い、子どもと保護者のニーズ・意向、課題の反映された個別支援計画を作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		作成会議を定期的に行い、職員が共通理解を持てるように話し合いを行っています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日頃から日々の子どもの様子を職員間や保護者へ共有し、モニタリングやアセスメントしながら行っている。		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ご家族とのグループラインを作成し、家庭での悩み事等を共有できるようにしています。それをもとに本人の姿や本人の意思を確認しながら、支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		担当職員を固定せず、職員で意見を出し合いながら計画しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		月間活動計画を作成する際に、5領域が各曜日に偏らないように活動を計画しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動で自信をつけ、その後小集団で行い達成感を味わえるように工夫しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝の朝礼で確認し、サポートが必要な場面を予想しながら役割を決めていっています。その中でその日の子ども様子を見ながら適宜対応しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		送迎後に終礼をおこない、その日の振り返りや共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		個別支援経過記録を記載しています。	個別支援経過記録を利用し、支援の検証・改善に役立て、見直していく中で職員の指導も行っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		保護者や関係機関との面談等にて本人の状況や課題などを話合っています。	初回以降は、概ね半年以内にモニタリングを行い、保護者の意向・確認を踏まえた放課後等デイサービス計画書を作成・見直しを行っています。
関係機関や保護者	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		よりよい支援が行えるよう努めています。	ガイドラインを職員全体にて読み合わせ、活動内容など検討、支援を行っています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		複数のプリントを事前に準備したり、選択遊びの時間を設けたりと自己決定力を高めるための活動を計画しています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		子どもの理解が偏らないように、会議等の前に職員間で共有したり、出来る限り複数名の職員で参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		行事予定表等や連絡調整等を保護者・担任に協力、情報提供を依頼し対応しています。医療機関から依頼があればその都度情報提供を行っています。	都度、情報共有・関係機関との連携を図っています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校の行事予定表等や連絡調整等を保護者・担任教諭に協力、情報提供を依頼し対応しています。	都度、情報共有・関係機関との連携を図っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		就学前には移行支援会議をしたり、移行支援シートを作成したりしながら、必要に応じて連携をとっています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		今年度は該当児童が不在ですが、例年必要に応じて文書作成、支援内容や様子についての情報提供を行っています。	現在該当児童は利用していないため、必要に応じて文書作成、支援内容の情報提供に努めます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		自立支援協議会こども部会への参画等、関係を結ぶと共に連絡関係の構築を図っております。	今後定期的にスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けていきます。

目 の 連 携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		他事業所との交流として放課後等デイサービスの運動会に参加したり、コミュニティセンターを活用した活動を定期的に行っています。	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○		研修や講義にも積極的に参加しています。	専門機関による公開講座に参加する等、助言を受ける機会があります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		ご家族とのグループラインを作成し、家庭での悩み事等を共有できるようにしています。送迎の際には直接子どもの様子や状態を伺う機会があります。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		事業所で取り組んでいる療育を御家庭でも取り組んでいただき、療育の効果をアップさせたり維持を目的にした助言や共有のことで。現在、担当者会議や講演会等の対面で話す機会に、ご家庭や学校での様子や困り感などを共有し、ニーズに合わせた話し合いを行っています。また9月に茶話会を行い、子どもたちの療育についての理解を深めていただくために模擬体験を行いました。	
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用日には毎回LINEで利用時の様子や活動の目的を共有しています。また、利用者負担等については初回契約時や変更があった際には必ずお話をさせていただきます。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		直接お話ししたり、グループラインや聞き取り用紙を活用したりしながら、本人やご家族の意向や思いなどを確認する機会を設けています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		アセスメントをもとに作成し、説明を行っています。要望があれば変更し再作成しています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		毎月のおたよりで面談日をお知らせしており、随時受付を行っています。また、面談日以外にも電話やLINE等での対応を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		今年度は6月と12月に親子行事を実施いたしました。兄弟と一緒に活動できる機会を設けました。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		問題に対して職員間で整理し、保護者との面談を行い対応しています。	重要事項説明書に担当窓口を記載し、契約の際にも説明しています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページやふうせん通信等にて情報発信しています。	避難訓練やイベント等の行事予定等は、ふうせん通信等のお便りを通じて事前に発信しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		シュレッダーの利用等、廃棄の際も気を付けています。鍵付き書庫にて管理しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		LINE、電話連絡等のツールを使いながら、ご家庭との連携を図っています。必要であれば子どもと個別で話をしたり、事前予告をしたりしています。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		法人全体でのお祭りの開催や地域イベントへの出店を行っています。	今後事業所内でのイベント開催時に、積極的に近隣の方の参加を呼び掛けていきたいと考えています。	

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを作成し、壁に掲載しております。避難訓練を定期的に行い、事件事故の発生に備えています。また年度初めのおたよりにてお知らせしています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		法人内で各委員会を設置し、各事業所ごとに訓練研修も行っていきます。随時必要な備品を周知し、職員間で共有しています。	今後も備品の管理を徹底し、訓練も含め非常災害発生時に備えていきたいと思ひます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		初回のアセスメントや担当者会議にて聞き取りを行っています。	現在ではてんかん等の症状があるお子さんの利用はないですが、今後あったときには研修や周知を徹底します。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者からの聞き取り・情報共有に努めております。	アセスメントシートに詳しく記載を依頼し、状況を個別に把握しており、クッキング等の活動時には個々への対応等配慮しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		作成しております。定期的な法人内での研修会の実施や話し合いを随時行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		年度初めのおたよりで周知しています。	グループラインを活用し、緊急連絡先の登録等の徹底を促していきたいと思ひます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事業所内で起きた事例やその他の事例についても職員間で共有し、再発防止に向けた対応を話し合っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止のための会議、研修を行い、周知徹底を図っています。	定期的に職員会議・研修を行い、周知・徹底しています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		常に寄り添える支援を目指しています。	（部屋からの飛び出し、自傷行為、他者へ危害を加える可能性がある場合など）子どもの命にかかわる場合であることを保護者の方々に十分に説明を行い、同意を得て、個別支援計画に記載しています。	